

令和8年度 川崎市宮前区民間活用事業者選定評価委員会会議録

日 時	令和8年7月7日（火） 午後2時～午後3時50分	場 所	宮前区役所第4会議室
出席者	委 員 亀ヶ谷純一委員、黒岩亮子委員、中原康子委員		
事務局	総務課 島崎課長、鈴木課長補佐、藤林主任		
所管課	地域振興課 松井課長、向坂担当係長 生涯学習支援課 新村課長、下間担当係長、篠原課長補佐		
傍聴者	なし(公開)		
議 題	(1) 宮前スポーツセンターの指定管理者に関する令和7年度評価について(公開) (2) 川崎市有馬・野川生涯学習支援施設(アリーナ)の指定管理者に関する令和7年度評価及び総括評価について(公開)		

事務局	川崎市宮前区民間活用事業者選定評価委員会を開催するにあたり、この会議は、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき、公開とします。また、委員の皆様は、本市が定める「民間活用事業者選定評価委員会等の委員の選任に関する指針」第4条に規定する利害関係はないということを報告させていただきます。 それではお手元の資料を確認していただくとともに、評価方法等について事務局から説明します。 (事務局から説明) それでは、本委員会の開会にあたり、川崎市附属機関設置条例第6条の規定に基づき、委員の皆様の中から互選により会長を決めていただき、会長により議事の進行をお願いしたいと存じます。会長の選出にあたりまして、何か御意見等はございませんか。
各委員 事務局	<意見なし> 特に御意見がなければ、亀ヶ谷委員にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。 (各委員から了承され、亀ヶ谷委員承諾) それでは、亀ヶ谷委員を川崎市宮前区民間活用事業者選定評価委員会の会長ということでお願いいたします。 では、これからの議事進行は亀ヶ谷会長に進めていただきます。よろしくお願いいたします。 【委員会開会】
亀ヶ谷会長	これより、令和8年度川崎市宮前区民間活用事業者選定評価委員会を開会します。 はじめに、本日の委員会は、委員3名中3名の出席によりまして、川崎市附属機関設置条例第7条の規定により成立していることを御報告します。 本会議については、先に事務局の説明にありましたとおり、公開といたします。 次に、本日の会議録ですが、「要約方式」により作成することとしてよいでしょうか。
各委員 亀ヶ谷会長	<了承> また、会議録につきましては、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則第5条第2項の規定により、委員会で指定された者の確認を得るものとされておりますので、会議録の確認者を決定しますが、各委員により確認することとしてよいでしょうか。
各委員 亀ヶ谷会長	<了承> では、そのように決定します。 また、会議録の作成にあたっては、発言者が分かるよう委員名を記載するものとし、併せて、文書開示請求等があった場合には、委員名は原則公開されますので、御了承ください。 それでは、議題(1)宮前スポーツセンターの指定管理者に関する令和7年度評価について、宮前スポーツセンターを所管している地域振興課から説明をお願いします。
地域振興課	(議題(1)宮前スポーツセンターの指定管理者に関する令和7年度評価について説明)

亀ヶ谷会長 黒岩委員	ただいまの地域振興課からの説明につきまして御質問や御意見がありましたらお願いします。 フクシ・ハリマ・スポ協同事業体は、小学校、中学校、自治会などと地道に連携を重ねてきたことがよく分かりました。私は地域福祉が専門ですが、その点は非常に評価できると思います。 また、パラリンピックを契機とした取組を一過性のものにせず、日常的な活動として継続してきたことも高く評価できます。 今回の評価ランクはCですが、日常的な取組を着実に積み上げてきた一方で、特別な事業が少なかったことも影響したのではないかと思います。令和6年度との比較では難しい面もあったと思いますので、この評価は妥当だと考えます。
中原委員	地域との連携事業を積極的に実施されている点は素晴らしいと思います。 質問が2点あります。
地域振興課	1点目ですが、利用者数は前年度と同程度であり、施設稼働率も高い一方で、収支状況確認シートを見ると利用料金収入が前年度より減少しています。その要因について教えてください。 利用料金収入の減少要因について確認したところ、回数券の売上が大きく影響していることが分かりました。
中原委員	令和6年度の3月に回数券販売キャンペーンを実施しており、その際に多くの回数券が販売されました。その反動もあり、令和7年度は回数券購入を控える傾向が見られ、月によっては前年同月比で10万円単位の差が生じるなど、回数券売上の減少が利用料金収入減の主な要因となっていました。
地域振興課	もう1点質問ですが、収支状況確認シートを見ると、諸謝金や旅費が提案額より大きく減少しています。予定していた講座等が中止になったのでしょうか。
亀ヶ谷会長	そのような事情は特に確認しておりません。予算計上額がやや大きめであったものと考えています。
地域振興課 亀ヶ谷会長	評価シートのサービス向上の取組のうち、ボッチャの実施についてですが、これは指定管理者が準備から運営まで担い、参加者に体験していただく形だったのででしょうか。 私自身も大学で地域のボッチャ事業に携わったことがあります。参加者が準備から関わる参加型の取組も有効だと感じています。今後、新たな指定管理者のもとで、さらに発展的な参加型の取組も検討していただければと思います。
各委員 亀ヶ谷会長	また、苦情件数について、目標値を10件以内とした根拠は何かありますか。 市として定めた基準ではなく、指定管理者が提案した目標値となります。 以上を踏まえ、それでは、議題(1)の「宮前スポーツセンター」における指定管理者制度活用事業の令和7年度評価について、提出された本案を委員会の評価として決定してよいでしょうか。
各委員 亀ヶ谷会長	<了承> それでは、本件については事務局提案のとおりいたします。 議題(2)については、休憩後としたいかと思います。

	(※休憩※)
亀ヶ谷会長	議題(2)川崎市有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)の指定管理者に関する令和7年度評価及び総括評価について審議することとします。川崎市有馬・野川生涯学習支援施設を所管している生涯学習支援課から説明をお願いします。
生涯学習支援課	(議題(2)有馬・野川生涯学習支援施設(アリーノ)の指定管理者に関する令和7年度評価及び総括評価について説明)
亀ヶ谷会長	それでは、ただいまの生涯学習支援課からの令和7年度評価の説明につきまして御質問や御意見がありましたらお願いします。
中原委員	全体として非常に良好な運営が行われていると感じました。 利用料金収入は若干減少していますが、その他収入は増加しており、収入全体としては高い水準を維持しています。 また、新規事業のうち子育て関連講座の参加者が多く、利用者ニーズを的確に捉えた企画運営がなされていると感じました。
黒岩委員	広報についても工夫が見られ、施設運営は非常に適切であると評価します。 15年にわたり積み重ねてきた地域とのつながりや実績が表れていると感じました。 アウトリーチ事業についても、寺院や学校、地域団体などとの連携を図りながら実施されており、高く評価できます。 質問ですが、マルチ業務を担う職員配置について、職員の負担は大きくなっていないのでしょうか。また、ボランティア育成にも職員が関わっているとのことですが、その負担についてどのように考えていますか。
生涯学習支援課	毎月実施しているモニタリングにおいて、職員の過重負担が課題であるという報告は受けておりません。限られた人員体制の中ではありますが、指定管理者は他施設の運営実績も有しており、職員配置や役割分担を工夫しながら効率的な運営を行っているものと認識しています。
黒岩委員	もう一点ですが、フリースペースやギャラリーについて、利用件数は減少している一方で利用人数は増加しています。市民活動や地域交流の拠点として、これらのスペースをどのように活用していくのか課題や方向性があれば教えてください。
生涯学習支援課	フリースペースやギャラリーの利用について詳細な分析はできていませんが、館全体としては、近年は主催事業を積極的に展開しており、一事業あたりの参加人数が増加しています。その結果、全体の来館者数増加につながっている可能性があります。
亀ヶ谷会長	フリースペースやグループ室など無料利用スペースの稼働率については、私も同様に疑問がありま

	したが説明を聞いて分かりました。 また、市環境局による暑熱対策への協力や野川地区への配慮など、地域課題に丁寧に対応していることは高く評価できます。 全体として非常に安定した施設運営が行われていると感じています。 私も評価ランクCというのは妥当だと思います。
中原委員	アウトリーチ事業として実施した「野川ミュージックソー」の参加者数17人について、当初の想定人数はどの程度だったのでしょうか。
生涯学習支援課	当初の集客想定数は把握していませんが、当日の参加者は委員がおっしゃるとおり17人でした。広報についてはアリーノニュース等を活用して周知しましたが、今後は地域団体との連携など、より効果的な周知方法も検討したいと考えています。
亀ヶ谷会長	野川地区で実施した事業については、より地域への周知が図られれば参加者数を増やせた可能性もあるため、今後は地域団体との連携による広報も検討していただきたい。
亀ヶ谷会長	それでは、次に総括評価の説明につきまして御質問や御意見がありましたらお願いします。
黒岩委員	今後の方針にある「誰もが気軽に活用できる居心地の良い施設づくり」は非常に重要であると感じます。フリースペースやギャラリーを活用し、これまで施設を利用してこなかった方々が気軽に立ち寄れる環境づくりが必要ではないでしょうか。 また、調理室を活用したコミュニティカフェなど、市民活動団体と地域住民をつなぐ仕組みづくりにも可能性を感じます。 さらに、市民活動団体同士の連携や地域の居場所づくりといった市の施策との連動も期待したいところです。
亀ヶ谷会長	若い世代の視点を取り入れることも重要ではないかと思います。大学生などが地域活動や施設運営に関わることで、新たな利用者層の開拓につながる可能性があります。 また、指定管理者制度については、これまでの実績や成果を踏まえ、今後も継続することが望ましいと考えます。
生涯学習支援課	指定管理者も新たな利用者の獲得を課題として認識しています。 特にフリースペース等の活用については重要なテーマであり、今後の施設運営の中で工夫を図っていきたいと考えています。
亀ヶ谷会長	それでは、議題(2)の「アリーノ」における指定管理者制度活用事業の令和7年度評価及び総括評価について、提出された本案を委員会の評価として決定してよいでしょうか。
各委員	<了承>
亀ヶ谷会長	ありがとうございました。以上をもちまして、議題(1)、(2)の審議が終わりましたので、議事を事務局にお返しいたします。
事務局	会長及び委員の皆様、長時間にわたり、大変お疲れ様でございました。皆様の御意見によりまして、

公正なる審議結果を得ることが出来ました。誠にありがとうございました。

なお、今回御審議いただいた「宮前スポーツセンター」の年度評価、「川崎市有馬・野川生涯学習支援施設アリーノ」の年度評価及び総括評価としてまとめられた評価シートにつきましては、今後、川崎市のホームページにて公表されることとなりますので、その旨御了承ください。

それではこれを持ちまして、「令和8年度川崎市宮前区民間活用事業者選定評価委員会」を終了させていただきます。

委員の皆様、本日は、どうもありがとうございました。

(以上)